

# 聖火 県内を横断



手を振りながらトーチを掲げる菊池桃子さん=26日午前、福島市・信夫ヶ丘競技場(代表撮影)

## リレー2日目



### 福島・第1走は菊池桃子さん

東京五輪の聖火リレー2日目は26日、相馬市の相馬中村神社をスタートした。県内9市町村がルートとなっており、相馬、県北地方を経て、聖火は歴史と伝統が息づく会津地方に入る。この日、5市町村目となった福島市では、信夫ヶ丘

陸上競技場からリレーが始まった。最初の走者は、同市出身の作曲家古閑裕面をモデルに昨年放映されたNHK朝ドラ「エール」に出演し主人公の母親役を演じた菊池桃子さんが務め、競技場内で聖火をつない

この日は、猪苗代町でスキーによる聖火リレーが行われるほか、三島町では海外観光客に人気の絶景スポット第1只見川橋梁展望台などを巡る。会津地方では「蔵の町」喜多方市や城下町の歴史が残る会津若松市を通り、同市の鶴ヶ城公園

にゴールする。最終走者は元女子バレーボール日本代表の大林素子さんが務める。本県聖火リレー最終日となる27日は南会津町を出発し、県南、県中地方などの7市町を通り、郡山市の開成山公園にゴールする。